

## 経営比較分析表(令和5年度決算)

経営比較分析表とは、各公営企業の経営及び施設の状況を表す主要な経営指標とその分析で構成されたもので、公営企業の見える化を推進するため平成26年度決算から策定しています。

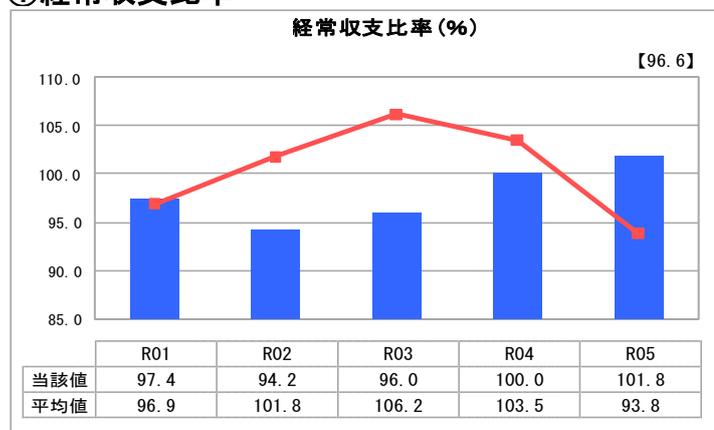
経営比較分析表を活用することにより、当該団体の経年比較や他の公営企業との比較、複数の指標を組み合わせた分析を行い、経営の現状及び課題を的確かつ簡明に把握することが可能となります。

指標の基礎数値は、市の病院事業会計と指定管理者が運営を行っている市立大村市民病院の決算値を合算したものを使用しています。

類似病院とは、一般病院を病床数で区分したものです。市立大村市民病院と同じ区分(200床以上300床未満)には、全国で85病院あります。

### 1. 経営の健全性・効率性

#### ① 経常収支比率



単位:千円

【参考】	R3	R4	R5
経常収益(A)	5,237,218	5,370,538	5,259,778
経常費用(B)	5,457,487	5,373,142	5,166,600

※経常収支比率(A÷B×100)

#### グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

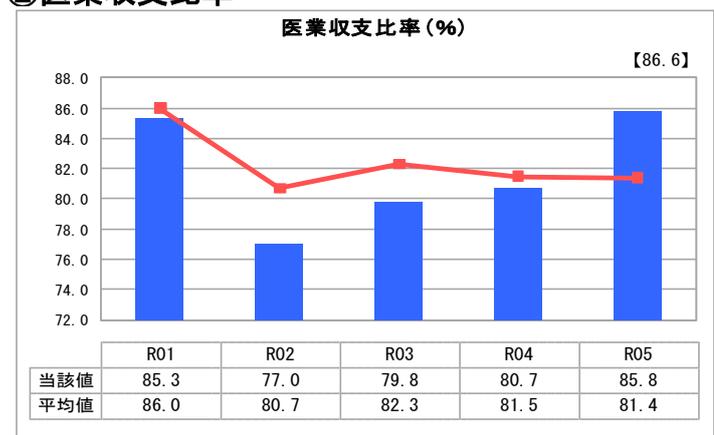
#### 【指標の意味】

医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を示す指標。数値が100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しており、経営改善に向けた取組が必要である。

#### 【分析】

市民病院(指定管理者)は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により赤字決算となりましたが、令和3年度以降は黒字を維持しています。令和5年度は、コロナ関連での補助金が大幅に減少したこともあり、3,128万円の黒字(前年度比 約3,700万円の減)となっています。一方、病院事業会計(市)においては、医療機器の耐用年数が経過したことに伴い減価償却費が減少したことなどで収支が改善し、6,477万円の黒字決算となり、当該指標は100%を超えました。類似病院との比較では、平均を上回っています。

#### ② 医業収支比率



単位:千円

【参考】	R3	R4	R5
医業収益(A)	4,307,525	4,247,550	4,393,740
医業費用(B)	5,395,814	5,265,103	5,119,269

※医業収支比率(A÷B×100)

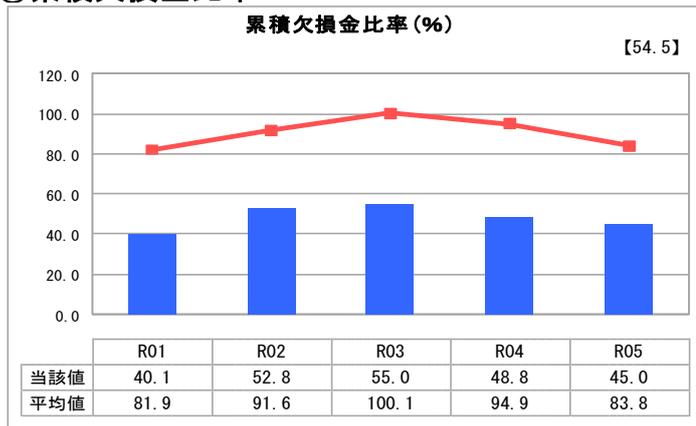
#### 【指標の意味】

病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標である。医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示すものであり、医業活動における経営状況を判断するものである。

#### 【分析】

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、通常の診療体制へ戻したことなどにより患者数が回復したことで医業収益も増加することとなり、当該指標は大きく改善しました。類似病院との比較では、平均を上回っています。

### ③累積欠損金比率



単位:千円

#### 【指標の意味】

医業収益に対する累積欠損金(当年度未処理欠損金、当期未処理損失)の状況を示す指標で、累積欠損金が解消されるよう経営改善を図っていく必要がある。

#### 【分析】

累積欠損金比率は、平成29年度に病院建替えに伴う経理処理を行ったことで、大幅に低下しました。その後は、病院事業会計(市)の赤字決算が続いていることで上昇傾向にありましたが、令和3年度をピークに低下に転じました。令和5年度は、病院事業会計(市)においても黒字決算となったことなどで当該指標は前年度から低下しています。病院事業会計(市)は、市の一般会計からの繰入金によって賄われており、黒字を維持し続けることは困難ですが、少しでも解消するよう取組を進める必要があります。

〈令和5年度〉

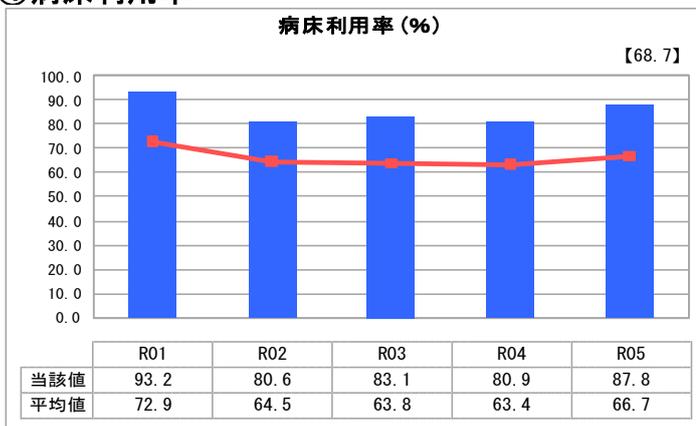
病院事業(市)累積欠損金 21億9,611万円

市民病院(指定管理者)利益剰余金 2億2,065万8千円

【参考】	R3	R4	R5
当年度未処理欠損金(A)	2,370,202	2,072,753	1,975,453
医業収益(B)	4,307,525	4,247,550	4,393,740

※累積欠損金比率(A÷B×100)

### ④病床利用率



単位:人、床

#### 【指標の意味】

病院の施設が有効に活用されているか判断する指標である。病床利用率が低い場合、病床数に見合う職員配置による経費が生じているにもかかわらず、それに相応する診療収入が得られず、経営悪化の要因となる。

#### 【分析】

平成29年度に建替え後の病院の供用を開始したことに伴い平均値を超える高い病床利用率となっています。

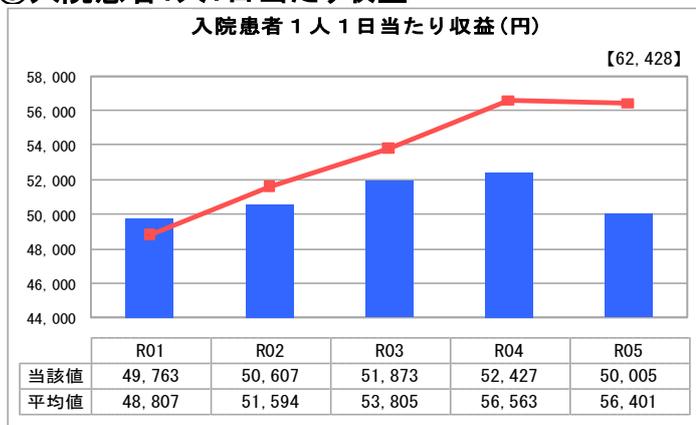
令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により低下していましたが、令和5年度においては、医師会や関係医療機関との連携強化等に取り組んだことなどにより前年度から大きく上昇しています。

病床利用率の確保は、病院運営を行う上で重要であるため、患者が安心して安定的に受診できる状況を確保する必要があります。

【参考】	R3	R4	R5
年延入院患者数(A)	64,906	62,581	68,094
年延病床数(B)	78,112	77,380	77,592

※病床利用率(A÷B×100)

### ⑤入院患者1人1日当たり収益



単位:千円、人

#### 【指標の意味】

入院患者への診療及び療養に係る収益について、入院患者1人1日当たりの平均単価を示す指標である。減少傾向にある場合や類似病院の平均より下回っている場合は、その原因について分析し、安定した収益が確保できるよう改善へ向けて検討することが求められる。

#### 【分析】

年延入院患者数は増加したものの、心臓血管外科の体制縮小の影響などにより、当該指標は前年度と比較して減少しています。

診療科別でみると、入院患者数が最も多かった内科(24,858人)の単価は44,706円、次いで整形外科(18,457人)が39,245円となっています。

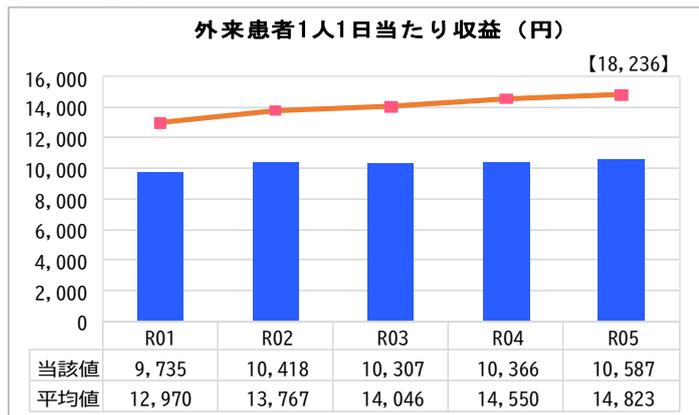
最も単価が高いのは婦人科で、患者数438人に対し単価が119,037円、次に循環器内科で患者数6,300人に対し単価が80,285円となっています。

類似病院平均との比較では、差が拡大しています。

【参考】	R3	R4	R5
入院収益(A)	3,366,889	3,280,932	3,405,043
年延入院患者数(B)	64,906	62,581	68,094

※入院患者1人1日当たり収益(A÷B×1000)

## ⑥外来患者1人1日当たり収益



単位:千円、人

### 【指標の意味】

外来患者への診療及び療養に係る収益について、外来患者1人1日当たりの平均単価を示す指標である。減少傾向にある場合や類似病院の平均より下回っている場合は、その原因について分析し、安定した収益が確保できるよう改善へ向けて検討することが求められる。

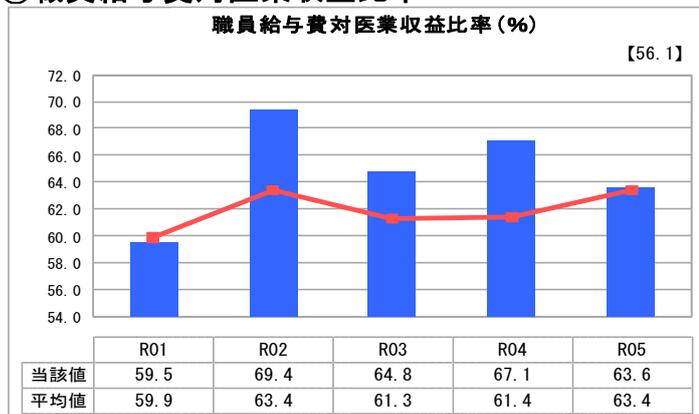
### 【分析】

前年度と比較して大幅な増加はなく、1万円台を保ち概ね横ばいとなっています。診療科目別にみると、最も外来患者数が多かった内科(16,361人)の単価は12,994円で、次いで整形外科(13,753人)が5,365円となっています。最も単価が高いのは透析で、患者数3,014人に対して単価が26,840円となっています。

【参考】	R3	R4	R5
外来収益(A)	752,070	766,256	777,030
年延外来患者数(B)	72,969	73,923	73,393

※外来患者1人1日当たり収益(A÷B×1000)

## ⑦職員給与費対医業収益比率



単位:千円

### 【指標の意味】

医業収益の中で職員給与費が占める割合を示す指標である。病院は人的サービスが主体となる事業であり、職員給与費が最も高い割合を占めることとなる。このため、職員給与費をいかに適切なものとするかが重要なポイントとなる。

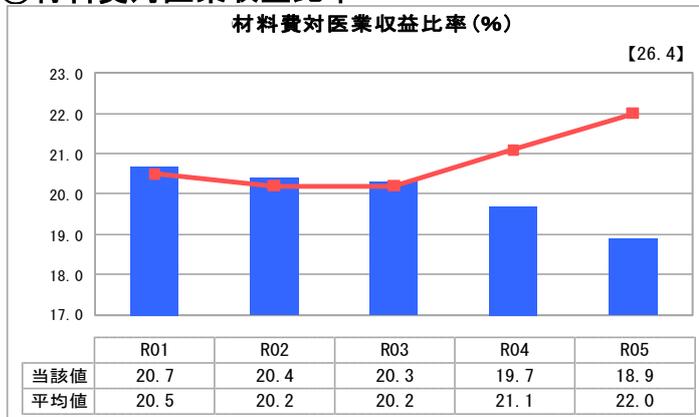
### 【分析】

令和5年度は、入院患者数の増に伴い医業収益が増加したことに加え、年間延職員数が前年度から減少したことなどにより職員給与費が減少し、指標が改善しています。

【参考】	R3	R4	R5
職員給与費(A)	2,791,891	2,850,030	2,795,862
医業収益(B)	4,307,525	4,247,550	4,393,740

※職員給与費対医業収益比率(A÷B×100)

## ⑧材料費対医業収益比率



単位:千円

### 【指標の意味】

医業収益の中で材料費が占める割合を示す指標である。薬品費等を含む材料費は、費用のうち職員給与費に次いで高い割合を占める要因の1つである。

### 【分析】

材料費対医業収益比率は、平成29年度以降、類似病院平均値とほぼ同じ比率で推移していましたが、令和5年度は、医業収益の増加に加え、手術件数の減少により高額な診療材料の購入が減少したため、前年度と比較し当該指標は低下しています。

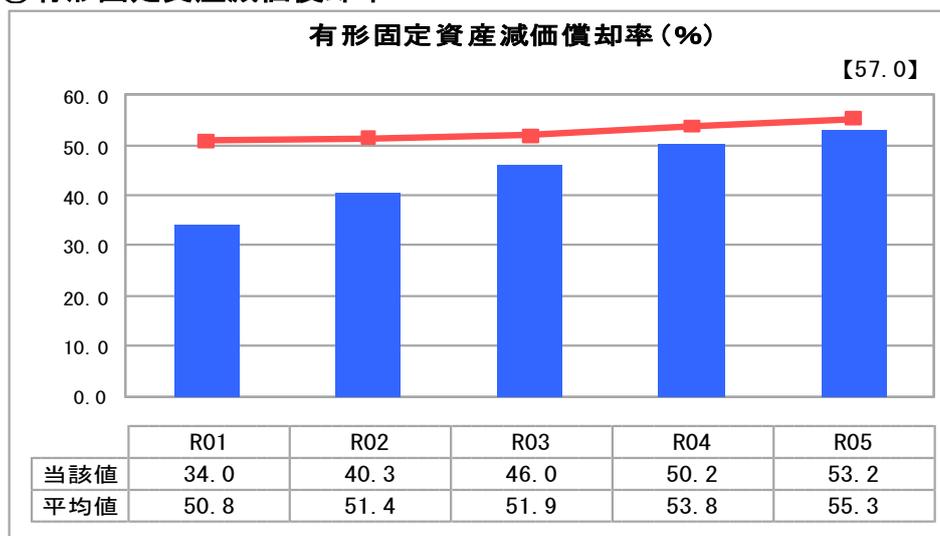
材料費内訳	R4	R5	増減
薬品費	268,379	284,225	15,846
その他材料	525,127	497,384	△27,743
給食材料費	42,346	47,614	5,268
合計	835,852	829,223	△6,629

【参考】	R3	R4	R5
材料費(A)	874,630	835,852	829,223
医業収益(B)	4,307,525	4,247,550	4,393,740

※材料費対医業収益比率(A÷B×100)

## 2. 老朽化の状況

### ①有形固定資産減価償却率



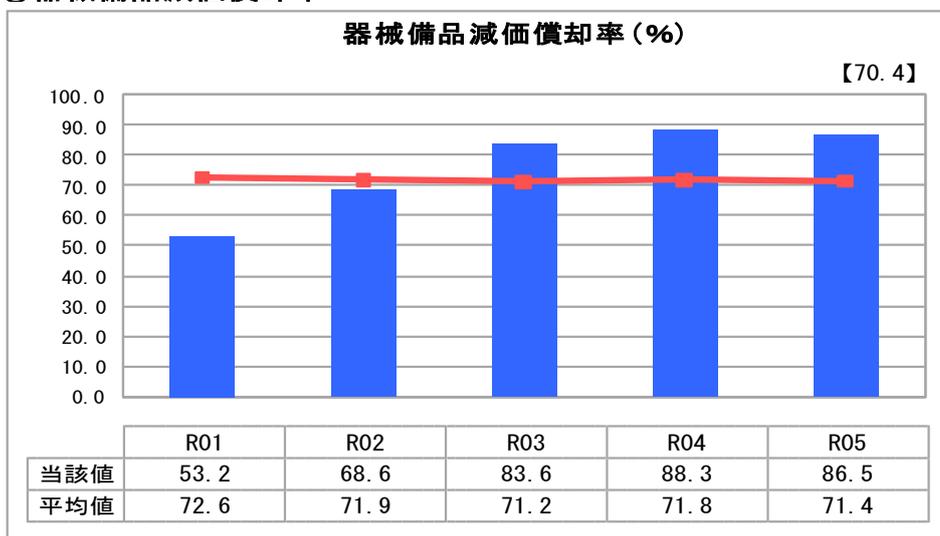
#### 【指標の意味】

有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標で、資産の老朽化度合を表す。数値が高い場合には老朽化が進んでいることを示しているため、計画的な施設の更新等を検討する必要がある。

#### 【分析】

平成28年度末に病院建替えが完了したことで平均値を下回っていますが、建替え後の病院と老朽化した機器の更新に伴い新たに購入した機器の減価償却を行っていることから、当該指標は増加を続けています。

### ②器械備品減価償却率



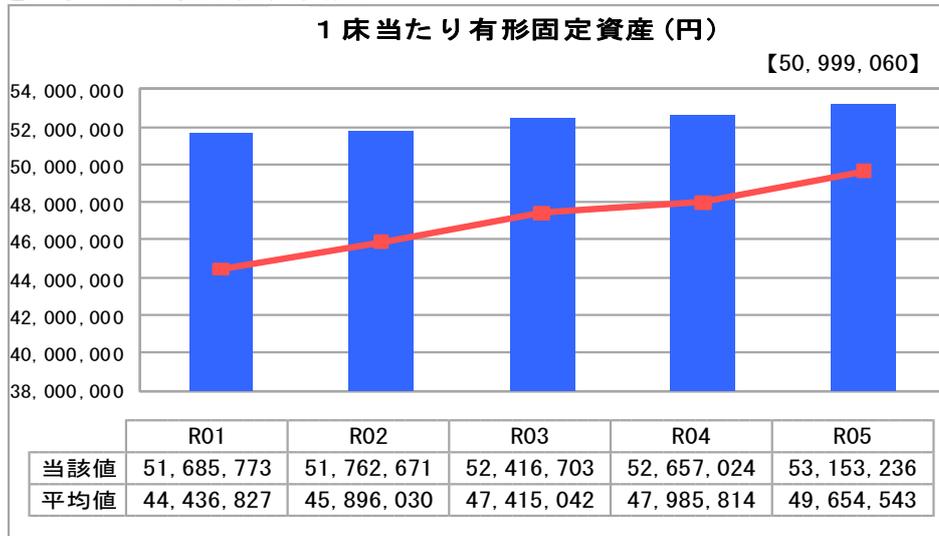
#### 【指標の意味】

有形固定資産のうち医療器械備品の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標で、資産の老朽化度合を表す。①同様、数値が高い場合には老朽化が進んでいることを示しているため、計画的な施設の更新等を検討する必要がある。

#### 【分析】

平成28年度の病院建替えと同時に更新を行った医療機器の多くが償却期間(耐用年数)が5年又は6年です。令和3年度以降、更新から償却期間(耐用年数)が経過したため、指標が80%を超え平均値よりも高くなっています。今後は、建替え以前から使用している機器に加え、建替え時に更新した機器の再更新時期も迎えるため、計画的な更新が必要になります。

### ③1床当たり有形固定資産



#### 【指標の意味】

1床当たりの有形固定資産の保有状況を示す指標である。過大な投資は、将来的に減価償却費として収益的支出の増大にもつながることから、類似病院平均より上回っている場合は、その原因について分析し、改善に向けて投資計画の策定等を検討することが求められる。

#### 【分析】

令和2年度までは一般病床212床＋感染症病床4床の合計216床としていましたが、令和3年度に感染症指定医療機関の指定が解除となったことに伴い総病床数が212床になったため、当該指標が増加しています。

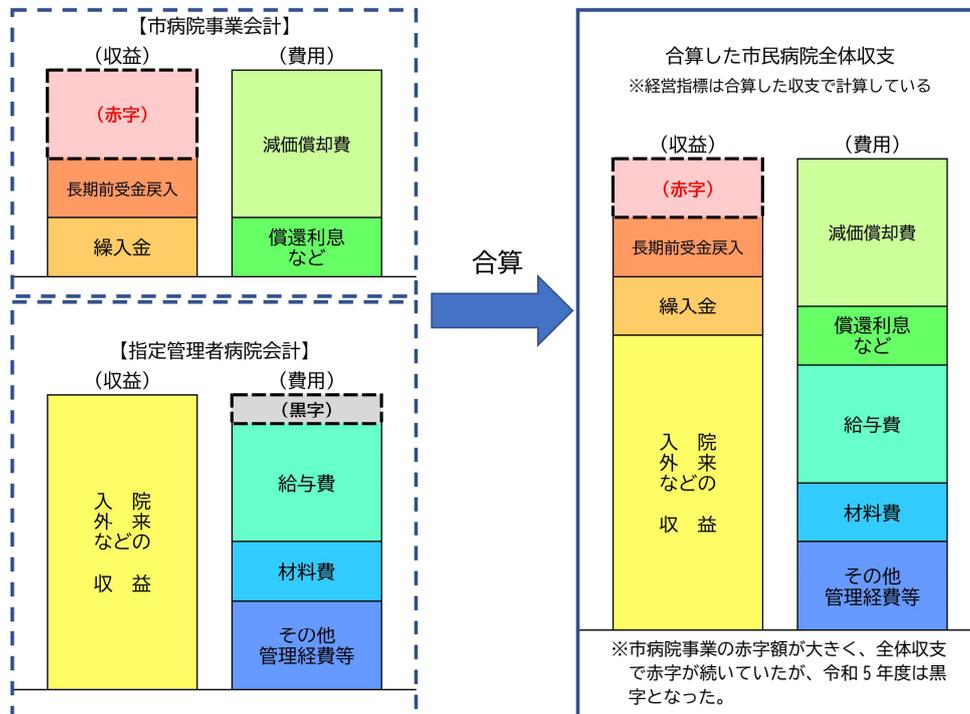
また、前年度との比較では、新たに医療機器を購入したため、増加しています。

類似病院平均と比較しても数値が大きくなっていますが、平成28年度末の病院建替えの影響が考えられます。

(参考)建替え前(平成27年度)数値: 25,422,423円



## 市立大村市民病院の会計イメージ



【令和5年度 市民病院全体収支】

単位:千円

区分	市 病院事業会計	指定管理者 病院会計	合計
<b>医業収益</b>	0	4,393,740	4,393,740
入院収益		3,405,043	3,405,043
外来収益		777,030	777,030
その他医業収益		211,667	211,667
<b>医業外収益</b>	501,024	365,014	866,038
受取利息及び配当金	800	1	801
政策医療交付金		223,956	223,956
他会計負担金	37,705		37,705
長期前受金戻入	386,793		386,793
その他医業外収益	75,726	141,057	216,783
特別利益		2,995	2,995
<b>事業収益 計</b>	<b>501,024</b>	<b>4,761,749</b>	<b>5,262,773</b>
<b>医業費用</b>	399,259	4,720,010	5,119,269
給与費	118	2,795,862	2,795,980
材料費		829,223	829,223
委託費		297,396	297,396
経費	11,079	314,660	325,739
設備関係費		256,764	256,764
減価償却費	384,916	226,105	611,021
資産減耗費	3,146		3,146
<b>医業外費用</b>	36,894	10,437	47,331
支払利息	36,894	4,800	41,694
その他医業外費用		5,637	5,637
特別損失	94		94
<b>事業費用 計</b>	<b>436,247</b>	<b>4,730,447</b>	<b>5,166,694</b>
<b>事業(医業)損益</b>	<b>△ 399,259</b>	<b>△ 326,270</b>	<b>△ 725,529</b>
経常損益	64,871	28,307	93,178
税引前当期純損益	64,777	31,302	96,079
法人税等		21	21
当期純損益	64,777	31,281	96,058

令和5年度決算における  
市民病院全体の収支